

北海道と北海道民を愛する皆さまへ

新型コロナウイルス感染拡大を抑えるためのお願い

2020年11月18日

北海道大学大学院医学研究院公衆衛生学 玉腰暁子

人口を加味した北海道の新規陽性患者数は全国で1位となり、高齢者施設や医療機関等でのクラスター報道も続いています。北海道では、11月7日から警戒ステージを3に引き上げていましたが、17日には医療提供体制のひっ迫の度合いが急速に増しているとして札幌市を対象にステージ4相当の強い措置を講じるとしました。ステージ3は「感染者がさらに増加し、医療提供体制への負荷がより一層高まる段階」、ステージ4は「感染者の急増及び医療提供体制における大きな支障の発生を避けるための対応が必要な段階」とされており、札幌市と道内外との不要不急の往来自粛等が呼びかけられています。

最近、札幌の繁華街、そして若者の感染から、地方へ、そして高齢者へと感染が拡大傾向を示しています。感染者数、濃厚接触者数が増えれば、保健所等の行政機関の負担が増え、重症しやすい方たちに広がれば、医療機関に多大な負荷がかかります。病床を確保している病院でも、院内でクラスターが生じれば新たな患者を受け入れることが困難になります。特に地方では、限られた病床と医療従事者で対応せざるを得ません。新型コロナウイルス感染症の重症者だけの問題ではなく、他の疾病で急を要する患者、手術を予定している患者、あるいは事故にあった患者にも対応できなくなる可能性があります。冬に向かう現在、今後は冬道を治療のために長距離移動せざるを得ず、そのために間に合わなくなる可能性さえ懸念されるのです。

一方で、感染した人は通常の生活を送る中で感染しており、その感染は避けられないものであったことを忘れず、感染者やその家族、周囲の方に接してください。体調が悪い方、感染が心配な方、感染した方が、気兼ねなく症状を伝え、安心して休み、また治療を受けられる環境、社会に復帰できる環境を皆さんの心構えで作って守ってください。そして、医療現場や介護施設など、感染が広がれば大きな被害が生じる場所に、ウイルスが持ち込まれないようにしたいものです。

皆さまには、今後とも、ご自身と大切な方、そして北海道を守るため、偏見を持たず、リスクを避ける行動をとられること、特にここしばらくは感染予防策を十分に講じるとともに不要不急の外出を控えることをお願いいたします。

北海道の皆様へのお願い

- (1) 「換気の悪い密閉空間」、「人が密集している」、「近距離での会話や発声が行われる」ことが重なるような場は避けましょう
- (2) 体調が悪い時は外出を控えましょう
- (3) 手洗いの習慣を維持しましょう
- (4) 人混みが避けられない場所ではマスクをしましょう
- (5) 自分自身も感染者になりうると考えて行動しましょう